

不便を活かす都市のデザイン

Urban Design based on Further Benefit of a kind of Inconvenience

実施責任者

平岡敏洋（情報学研究科システム科学専攻・助教） 谷俵太（俵プロダクション）
川上浩司（デザイン学ユニット・特定教授）
塩瀬隆之（総合博物館・准教授）

実施協力者

受講者

須藤 敬之（工学研究科M1） 丸尾 優子（情報学研究科M1）
谷口 智哉（経済学研究科M1） 吉井 健（経営管理大学院M1）
山本 法子（教育学研究科M1） 三輪 千晴（地球環境学舎M2）

実習概要

京都を対象にして、不便だからこそその益（不便益）が得られるモノ（インフラや設備など）やコト（ルールなど）をデザインすることが実習の目的である。受講者と実施責任者・実施協力者で相談した結果、「不便益な京都観光ツアー」を考えだすことに決定した。受講者は3人ずつの2チームに分かれて、1) フィールド調査を行い、2) 不便の効用を活用するという問題解決方法を適用した京都観光ツアー案を考えだし、3) ツアーのパンフレットを作成したうえでプレゼンテーションを行った。

ツアー案1 『京都、ツアーガイド（させる）ツアー』

- 対象者**：何度か京都に来たことがあり、それなりに詳しい人／普通のツアーでは満足できない人。
不便：自分でガイドを考えないといけない／自分がガイドしなければならない／話すネタを自分で探す必要がある／ヒントをもらうには課題をこなさないといけない
客観的益：印象深く京都を知ることができる／自発性が鍛えられる／思考力が鍛えられる／土地感覚が身につく／運動不足解消、等
主観的益：話すことに対して自信がつくので嬉しい／意外性がある面白、等



ポスター表面

日帰り！
えっ私がガイドを？！
京都ツアーガイドツアー
京大生プレゼンツ！ をしあう

Q.どんなツアー？

A. 京都には、たくさんの観光地があり、またそれらを効率的に楽しめるよう、ツアーというものが盛んにおこなわれています。

右の図のように、ツアーガイドで紹介される魅力は、良く言えば王道、悪く言えば当たり障りのないものとなっています。万人受けじゃない、けど自分にとってはベストな魅力がきっとどこかにはあります。

このツアーでは、参加者自身に**ツアーガイドの実感、およびその準備**を行ってもらいます。それにより、

- ①**京都の新たな魅力**
- ②**自分だけのツアーを考える楽しさ**
- ③**鍛えられたコミュカ**

の3つを観光を楽しみながら感じることができます！

ガイドで紹介される魅力

自分だけの魅力！

序列化された魅力

こんな人にオススメ！

- ✓ 思い出に残るツアーをしたい
- ✓ いつもと違う京都を見たい
- ✓ 人と話すのが苦手
- ✓ 変わったことがしたい
- ✓ 達成感を味わいたい
- ✓ 眼力を鍛えたい

開催日時、料金

第一弾
銀閣寺 & 法然院

〇月〇日(日)開催！

お一人様：2800円
(お食事代、交通費、拝観料全て込み)

締切日：7月31日(日)

詳しいお支払方法などは下記の連絡先にご連絡していただくか、ホームページをご覧ください。

主催者連絡先

タイムスケジュール

ツアーの大きな流れは以下の通りです。また、お申し込み頂いた後、

- ①参加者グループA/Bどちらに属するか
- ②集合場所となる観光地(グループA/Bそれぞれ異なります)

についてのご案内をさせていただきますので、ご確認をお願い致します。

10:00 **まずは準備！**
事前に伝えられた観光地へと集合。他の参加者とともに、「30分間、マンツーマンで観光客をガイド」することができるよう準備をする。(指導教官付き)

12:00 **移動 & 昼食タイム**
昼食は、午後に実際に案内する相手(くじで選ばれたもう一方のグループのうちの一人)と一緒にとる。その際、ガイドのネタばらしは禁止！相手について知る。

13:00 **実際にガイドを行う & ガイドしてもらう**
自分が準備を行った観光地へ移動し、午前の準備 & 昼食でわかった相手の趣味嗜好を武器に、ペア相手をマンツーマンで30分ガイドする。ガイドし終わったら、今度はペア相手が準備を行った観光地へと移動し、逆に30分ガイドしてもらう。(順番は逆になることができます。)

14:30

対象となる観光地の規模により、ガイドを行っていただく時間、および終了時刻が変更となる可能性があります。予めご了承ください。

ポスター裏面（ツアー詳細）

ツアー案2 『五感で感じる京の街ツアー』

- 対象者**：何度か京都に来たことがある人。
不便：目を閉じて歩く／靴ではなく地下足袋を履いて歩く。
客観的益：目を開けて普通に観光しただけでは知り得ない京都を聴覚／触覚／嗅覚で味わうことができる、五感で感じることで記憶により深く残る、等
主観的益：意外な発見があって楽しい、面白い、等

じりりじりり
ちよろちよろ
しん
どくどく

五感で感じる京の街
「私たちが忘れていた五感」

ぬめぬめ
サラサラあ
ぎゅわわわ

日時：毎週土曜午前中
集合場所：叡電出町柳
持ち物：不安を恐れない心

日時：毎週土曜午前中
集合場所：叡電出町柳
持ち物：不安を恐れない心

ポスター表面（バージョンA）

じりりじりり
ちよろちよろ
しん
どくどく

目を閉じて歩く京都
「私たちが忘れていた五感」

ぬめぬめ
サラサラあ
ぎゅわわわ

日時：毎週土曜午前中
集合場所：叡電出町柳
持ち物：不安を恐れない心

ポスター表面（バージョンB）

日本最古の歴史を持つ京都。あなたも何度も訪れたことがあるでしょう。

しかし、「目を瞑って」この地を踏んだことはないでしょうか？

暗闇の中でしかわからない、おと。かぜ。香り。

あなたも感じてみませんか。

◆行程
九時二十分 集合（出町柳駅）
十一時 鴨川デルタ・糺ノ森
十一時半 みたらし茶屋・集め
十一時五十分 桃形商店街
ご飯

◆料金
三〇〇〇円（昼食付き）

◆お土産
地下足袋、空気笛

注釈（※）空気笛・好いた空気を閉じ込める街を歩くことが出来る足袋。

下鴨神社
鴨川Δ
樹方商店街
出町柳駅

ポスター裏面（ツアー詳細）